

2022年6月度情報交換会

日時：2022年6月22日（水）14:00～

【発表内容】

1. 遠山茂樹名誉教授による書籍『ロビン・フッドの森』の出版について
2. 樋口准教授編著 玉井教授執筆 『国境の時代』の出版について
3. ジュニアドクター鳥海塾の初回授業について
4. 大学院事務室より

※次回の情報交換会は 2022年7月27日（水）14:00～ 予定しています。

お問い合わせ

東北公益文科大学 地域共創センター 進藤

TEL) 0234-41-1115 FAX) 0234-31-2082

E-mail) koho@koeki-u.ac.jp

2022年6月22日
東北公益文科大学

東北公益文科大学教員の著書出版について 『ロビン・フッドの森ー中世イギリス森林史への誘いー』

遠山茂樹本学名誉教授が執筆した『ロビン・フッドの森ー中世イギリス森林史への誘いー』が出版されました。

本学図書館にも所蔵していますので、ぜひともご覧ください。

◇書籍名：

『ロビン・フッドの森：中世イギリス森林史への誘い（世界史の鏡 環境 7）』

◇著者：遠山茂樹（東北公益文科大学名誉教授）

◇出版社：刀水書房

◇ISBN：978-4-88708-515-2

◇価格：2,200円（税込）

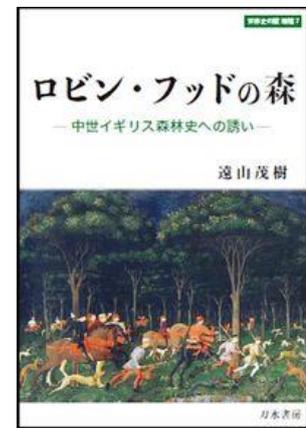
◇発行日：2022年5月11日

◇書籍情報（刀水書房HPより）

本書の目的は、イギリス中世の森と人間のかかわりを歴史的にさぐることである。その歴史をふりかえりながら、森と人間のかかわりをアウトロー物語と史実の両面から考えてみることにある。

さて、中世イギリスの森のアウトローといえば、シャーウッドの森に愉快的仲間と暮らすロビン・フッドを思い浮かべる読者は多いのではないだろうか。「金持ちから金銭を奪い取って、貧しいものに与える」というロビン・フッドのイメージは後世につくりあげられたもので、本来のものではない。そう、この物語をひもときながら、変幻自在のロビン・フッドの多様な姿をさぐってみたい。

それにしても、森と人間のかかわりは多様であり、時代の経過とともにさまざまな変貌を遂げてきた。本書では、そのごく一部にすぎないが、いくつかのルートをたどって歴史の中の森を散策することにしよう。



お問い合わせ

地域共創センター 進藤

電話) 0234-41-1115

2022年6月22日
東北公益文科大学

書籍『国境の時代』が発刊されました

本学教員の樋口恵佳准教授が編著の一人として、同じく本学の玉井雅隆教授が論文著者として関わった書籍『国境の時代』が発刊されました。

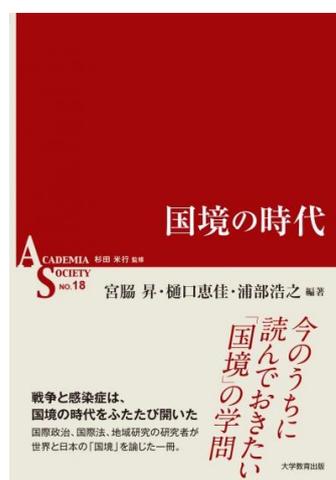
当該書籍は、立命館大学の特講『日本の国土・国境』を出発点とした、国際政治学、国際法学、地域研究の3つの分野の研究者たちが寄稿した論文集です。第1部は国境紛争を学術的に考えるために必要な基礎知識・視点を提示し、第2部・第3部において日本や世界の国境問題について詳述しています。

難易度は初学者・一般読者を想定しつつも、学術的に深く切り込む内容になっています。

宮脇昇(立命館大学教授)、浦部浩之(獨協大学教授)と共に、本学准教授の樋口恵佳が編著(第3章とコラムを執筆)として参加しています。また、本学教授の玉井雅隆も第4章の執筆者として参加しています。

記

- ◇書籍名：『国境の時代』
- ◇編著：宮脇 昇／樋口 恵佳／浦部 浩之
- ◇出版社：大学教育出版
- ◇発行日：2022年5月25日
- ◇ISBN: 978-4-86692-202-7
- ◇価格：2,530円(税込)



お問い合わせ
地域共創センター
電話：0234-41-1115

令和4年6月22日

東北公益文科大学 科学技術振興機構（JST）採択事業
令和4年度「ジュニアドクター鳥海塾」（第二期）
第1回講義実施のご案内

日頃より、東北公益文科大学に格別のご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
東北公益文科大学は令和3年度 科学技術振興機構「ジュニアドクター育成塾」に採択され、この度、第2期生の初回講義（全20回）を実施します。

本学事業名：鳥海山の頂から世界をめざせ！

地域の未来を情報技術で切り拓く ジュニアドクター鳥海塾

実施主担当者名：教授 広瀬 雄二

公式サイト：<https://www.koeki-prj.org/jd/home/>

受講生40名（小学校5年生～中学3年生）

★ポイント

- 本学学生メンターと昨年度修了した第1期生の小中学生のジュニアメンターが2期生の学びをサポートします。
- 受講生居住エリアは、庄内地域のみならず、最上地域、村山地域、秋田県にかほ市エリアに広がっています。

記

- 日 時：令和4年 **6月25日(土) 14:00～16:00**
- 会 場：東北公益文科大学教育研究棟3階大教室

■お問い合わせ

東北公益文科大学 公益ジュニアドクターセンター事務室
Tel 0234-41-1115（内線1120）
E-mail：jd-office@e.koeki-u.ac.jp

令和4年6月22日
東北公益文科大学

東北公益文科大学後援会連携講座 大学院科目「特別セミナーa」 最終発表会の開催について

東北公益文科大学では、大学院生とともに多様な社会人が地域課題解決における企業の役割について学修していただく機会として、大学院修士課程科目「特別セミナーa：庄内地域の課題解決と企業経営」を公開講座として開講しています。

4つの課題に対する受講生による解決策の提案発表会（学修成果発表会）を最終講義日6月25日（土）に行います。

★ ポイント

- ・ 本科目は、今年度より展開している大学院改革の重要な柱「大学院の地域連携・社会連携の推進」の新たな取り組みとして東北公益文科大学後援会との連携講座として企画・運営をしています。
- ・ 受講生は大学院生の他、企業経営者、銀行員、信用金庫職員、商工会議所・商工会職員、農家、会社員など多様な社会人17名です。異業種の方々が庄内地域の課題に関する研究活動、グループワークを行い、4月29日から全5日間のプログラムにより学び合っています。
- ・ 発表会では、①人材流出（鶴岡市内の企業の人材確保計画のケーススタディ）、②再生可能エネルギーの普及（課題整理とその克服方法）、③農業法人化による地域課題解決、④地域の経営力の集合（地域全体の生産性向上のための庄内発の工業製品の全国ブランド化）という4つの課題解決策の提案を各グループ30分ずつ行い、ディスカッションを展開します。

記

日 時：令和4年**6月25日(土) 9:00～14:30**

会 場：**東北公益文科大学 鶴岡キャンパス 大学院ホール**

講 師：武田真理子（東北公益文科大学教授、大学院公益学研究科長）

広崎 心（東北公益文科大学准教授、専門分野 経営学）

◆6月25日（土）の特別講師（受講生の発表内容に対するご講評者）

熊谷芳則 氏（株式会社ホテルリッチ酒田 代表取締役）、他

お問い合わせ（受付時間：平日 8:30～17:00）

■大学院事務室（東北公益文科大学 鶴岡キャンパス）

〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町14-1

TEL：0235-29-0555 FAX：0235-29-0556

E-MAIL：gs@koeki-u.ac.jp